

令和7年6月6日

東部農林水産振興センター雲南事務所農業部

標 題      サンショウの現地講習会を開催しました

(ダイジェスト)

雲南市ではサンショウを地域の特産品として推進するため、令和2年から生産者や加工・販売業者、関係機関等でコンソーシアムを形成し、産地化を進めています。

この度、生産技術の向上や生産現場での課題解決を目的として、南九州大学の前田隆昭教授を講師として招き、現地講習会を開催しました。

雲南市では、水稻生産者の経営の多角化を目的として、サンショウ栽培を推進しています。サンショウは、栽培管理が比較的容易で野生鳥獣被害が少ないため、生産者の高齢化が進む中でも取組易い品目となっています。従来から雲南市内には、サンショウの生産から加工までを一貫して行う法人があり、これらと一体的なサンショウの産地化を図るため、令和2年に生産者や加工・販売業者、関係機関により『雲南市山椒産地づくり協議会』が設立されました。現在では、およそ6haまで栽培面積が拡大しており、今後も生産量が増加する見通しです。

栽培面積の拡大に伴い、新たな生産者も栽培をスタートしていることから、5月22日に南九州大学の前田隆昭教授を講師として招き、現地での栽培講習会を開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、会場となったほ場には生産者や関係機関など多くの人が集まりました。講習会では、前田教授から新梢管理や施肥の方法、排水対策についてのご助言をいただき、生産者からも多くの質問が上げられました。講習会終了後、参加した生産者からは、「新たな知見を聞くことができて良かった、次回もぜひ参加したい。」などの声が聞かれました。

農業部では、今後も関係機関と連携し、雲南市内のサンショウ栽培を定着させるために支援していくこととしています。また、雲南市のみにとどまらず、近隣の奥出雲町や飯南町でのサンショウ栽培の拡大についても支援していきます。



前田教授の話を聞く参加者



説明をする前田教授